

## 令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

### 1 日時

令和7年6月5日（木）15:00～16:20

### 2 会場

岩手県立花巻農業高等学校 生物科学科実習室

### 3 出席者

#### 〔学校運営協議会委員〕

秋山 司 委員、海邊 健二 委員、川村 由佳 委員、小宮山 久美子 委員、山本 講治郎 委員、  
八木 稔和 委員、小田島 弘通 委員、市丸 成彦（副校長）、河野 裕（総務主任）

#### 〔学校教職員〕

校長、事務長、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、保健主事、農場長

### 4 会議内容

#### （1）開会のことば

#### （2）校長あいさつ

本校の学校運営協議会は令和6年度に発足して2年目となる。今年度は新たに6名の委員の皆様に加わっていただき、新たな13名体制となった。

本日の会議では、今年度の基本的な教育方針や学校経営計画、本校の状況等を示させていただき、このことについて皆様に忌憚のないご意見をいただきたい。

#### （3）令和7年度岩手県立花巻農業高等学校学校運営協議会会長及び副会長の選任

設置規則第5条に基づき、委員の互選により次のとおり決定

会 長：海邊 健二 委員

副会長：佐藤 巧 委員

#### （4）令和7年度学校経営計画について

##### 【校長】

##### ①令和7年度学校経営計画

令和7年度学校要覧（6頁）に基づき説明等

##### ②入学者の状況

・今年度の入学生は92名、昨年度より3割増加

##### ③今年度の部活動の状況

・ボクシング部がインターハイ出場、弓道部が東北大会に出場

・写真部、鹿踊り部が全国高総文祭に出場

##### ④農業クラブ活動の状況

今年7月、岩手県連盟大会を本校主管で開催

#### （5）学校概要について

##### ①令和7年度の状況

##### 【副校長】

学校要覧（10～14頁）に基づき説明等

・職員構成、生徒数等

## ②本年度の基本計画（各部）

### 【各部主任】

学校要覧（8頁）に基づき説明等

・総務図書部、教務部、生徒指導部、進路指導部、保健教育相談部、農場部

## [ 質 疑 ]

### 【委員】

教務部の説明について、今年度の教育課程から「情報Ⅰ」を設定した理由を伺う。

### 【教務主任】

従前は、情報科目の代替として農業科目の「農業と情報」のみの履修であった。「農業と情報」の教科書内容では、情報科目を通じて身につける4領域の学習の網羅が難しいため、1年次で「情報Ⅰ」を履修させることとした。

学習指導要領においては、農業分野の学習にはICT等に関する内容も導入されているので、農業分野に特化した情報教育については、2年次の「農業と情報」で履修することとした。

### 【委員】

生徒指導部の説明について、整容指導を実施するに当たり、現状の校則等はどのようなになっているか伺う。

### 【生徒指導主事】

本校の整容に関する校則は、服装や頭髪に関して具体的に示している。整容指導については、生徒が納得できる指導を心掛けている。

### 【校長】

従前は、校則を基本とした整容点検を行うことが長い間続いていたが、文部科学省が示す生徒指導提要においても生徒指導の考え方が変化している。本校は定期的に服装点検を実施しているところであるが、生徒が納得する指導を重視している。本校の生徒は高校入学時から正しい整容をしなければならないという意識が高いので、学校としては、今後も時間をかけてより良い整容指導のあり方を検討することとしている。

### 【委員】

保健教育相談部の説明について、授業や部活動の事故等による怪我の報告があるか伺う。

### 【保健主事】

近年は、教育活動中の事故等による怪我の報告はない。

### 【委員】

農場部の説明について、農業クラブ活動の内容や、受賞歴等について伺う。

### 【農場長】

農業クラブ活動に関する主な入賞歴は、学校要覧22・23頁に記載されている。農業クラブの大会は、各学科の生徒が日頃の学習成果を発表する場であり、本校はプロジェクト学習活動等を中心とした各種発表で成果を収めている。

## ③令和6年度の実績

### 【副校長】

学校要覧（21～23頁）に基づき説明等

・卒業生の進路状況、部活動・農業クラブ活動、各種資格取得者数

## [ 質 疑 ]

### 【委員】

各学科においては、プロジェクト学習の研究テーマごとに専攻班があるとのことであるが、専攻班に所属する生徒はどのように決めているか伺う。

【農場長】

1年次に科目「総合実習」等において各専攻班の学習を体験させており、2年次から、生徒は希望により各専攻班に所属し、専門分野の学習を深めている。

(6) 意見交換

- 〔視点1〕 持続可能な社会の創り手、地域や地域産業等を担う人材の育成  
〔視点2〕 本校の「特色化・魅力化」の取組を深化させるために  
〔視点3〕 少子化における入学者数の確保

【委員】

今年度の入学者数が昨年度より3割増加したとのことであるが、中学生に対してどのような取組が功を奏したと捉えているか伺う。

【校長】

地域の中学校長と会談した際、花巻農業高校では農業分野に関する学習において専門性を深める研究活動ができ、普通高校とは違う特色があることに魅力を感じて入学を希望する生徒がいるとの話をいただいた。このことから、本校の生徒や教職員が様々な形で学校の特色をアピールしてきた実績が、中学生に伝わったものと考えている。

【委員】

中学生と面談した際、花巻農業高校に進学を希望する生徒は、学校の教育活動に特色や魅力があるから進学先として志望しているとの話があった。昨年度の県立高校入試から特色型入試が導入され、県立高校を志望する中学生の増加につながるものと思われる。

【委員】

農業クラブ活動やプロジェクト学習については、地域や中学生の理解が深まるよう、メディアやSNS等を積極的に活用して情報発信をしていただきたい。

【委員】

食農科学科の卒業生が全国料理コンテストで第1位に入賞したと承知しているが、このことは、高校での学習成果と関係があるものと思う。高校で実習に意欲的に取り組み、専門分野に関する高い知識と技術を身につけ、進学先で専門分野の学習を深めることは大切に思う。

【委員】

高校生の進路選択は多様である。課題を抱えている生徒も増加していることから、高校においては、生徒個々に適切な進路指導を推進していただきたい。インターンシップについては学科の専門分野の事業所のみではなく、生徒が希望する分野の事業所についても選定できるようにするべきである。また、在学中のアルバイトを認め、職業観を高めさせることも必要ではないか。

【委員】

インターンシップの実施に当たっては、事前に企業見学の機会を増やすことで生徒の職業観を醸成し、企業についての理解を深めさせることで高い効果を得るものと考えている。

【校長】

本日は、委員の皆様から多角的にご意見等をいただき、今後の教育活動の改善点を見出すことができた。

生徒数の減少は著しく、県内の高校は学校規模の縮小が加速している。このことに伴い、県教育委員会では、今年8月に学校再編の方向性について具体案を示すこととなっている。学校存続に向けても、本日伺ったご意見は本校の教育活動の充実に反映させてまいりたい。入学者の確保については学校として様々な取組をしているところであるが、中学生に対して十分に魅力を伝えることが重要である。中学生に農業の魅力を伝え、本校を知っていただく重要性を再認識することができた。本日は、本校の教育活動について貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

(7) 閉会のことば